

2013年

「上場企業における
英語活用実態調査」
報告書

経済のボーダレス化やIT化の進展によって、「国際化」や「グローバル化」というテーマは、より身近なものとして私たちの社会に浸透し、企業のみならず個人の課題ともなっています。そして、経済や文化などあらゆる分野で国際的な交流が盛んになる中、英語が世界共通語としての役割を担っています。

このような時代にあって、私たちが目指すべきグローバル化とはどのようなものなのでしょうか。

その鍵の一つは、真のコミュニケーション能力を身につけ、世界中の人たちと一緒に議論し、協力しながら共に繁栄し、平和な世界を創造していくという視点に立つことでしょう。

一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC：The Institute for International Business Communication）は、「人と企業の国際化の推進」を基本理念に、世界的な視野の下に活動を展開してきました。その中心事業であるTOEIC（Test of English for International Communication）は、1979年に日本でスタートしました。TOEICプログラムは世界約150か国、14,000の企業・団体に活用され、年間700万人が受験しており、英語能力を測る世界共通のモノサシとして、英語によるコミュニケーションの促進に大きな役割を果たしています。

この冊子は、IIBCが2013年1月に実施したアンケート調査「上場企業における英語活用実態調査」を集計・分析し、その結果をまとめたものです。皆様のご参考になれば幸いです。

IIBCは、英語によるコミュニケーション能力の向上とグローバル人材の育成を願い、発足以来のノウハウと経験を生かした多彩な活動を通じて、人と企業の国際化に貢献し続けていきます。



調査概要

調査名	上場企業における英語活用実態調査-2013年
調査対象	国内の上場企業全3,254社の人事部門
調査方法	質問紙郵送法
調査期間	2013年1月
有効回答数	304社（うち英語使用企業228社）

- P.5の(1)以外の企業の回答結果は業務上英語を使用する企業に絞って集計している（228社、回答企業の75.0%が該当）。
- TOEICテストのスコアは5点単位、TOEICスピーキングテスト/ライティングテストは10点単位で算出しているため、期待スコアに関しては四捨五入してこの単位に合わせている。
- 割合に関する数値はすべて小数点以下第2位を四捨五入。

2013年	「上場企業における英語活用実態調査」報告書
-------	-----------------------

回答者属性	P.4
1. 英語の使用状況	P.5
〈1〉 75%の企業が英語を使用	
〈2〉 英語使用部署では4技能のバランスがとれた英語力が必要に	
〈3〉 4割以上の企業が英語能力向上のために「社員のモチベーションの向上」を重視	
2. グローバル人材育成と求められる英語力	P.6
〈1〉 5割以上の企業が海外進出する上で最重要視する「海外勤務できる人材育成の推進」	
〈2〉 グローバル人材育成のための取り組みを企業の5割が実施	
〈3〉 グローバル人材育成のための取り組みとして8割の企業が「英語研修」	
〈4〉 68.6%の企業が国際部門での業務遂行には「700点以上のスコアを期待」	
〈5〉 28.5%の企業が海外出張者選抜にTOEIC®テストを利用	
〈6〉 3割の企業が海外赴任者選抜にTOEIC®テストを利用	
3. 英語テストの利用	P.8
〈1〉 6割の企業がTOEIC®テストの結果を利用	
〈2〉 より多くの社員に英語テスト受験を推奨	
〈3〉 英語コミュニケーション能力測定の必要性…7割が「スピーキング」、6割が「リスニング」	
〈4〉 28.5%の企業が新入社員の採用試験で英語テストを実施	
4. 企業で求められるTOEIC®スコア	P.10
〈1〉 グローバル化に対応するため全社員に求められる期待スコア平均は「600点」	
〈2〉 7割の企業が採用時にTOEIC®スコアを参考に	
〈3〉 15.8%の企業で異動、昇進・昇格の要件	
〈4〉 昇進・昇格時に求められるスピーキング・ライティング能力	
TOEIC®テストとTOEIC®スピーキングテスト/ライティングテスト 期待/平均スコアとスコア比較表	P.12
TOEIC®スピーキングテスト Proficiency Level Descriptors(能力レベル別評価)	P.14
TOEIC®ライティングテスト Proficiency Level Descriptors(能力レベル別評価)	P.15

回答者属性

国内の上場企業全3,254社の人事部門を対象に調査を実施した。

【全回答者】

(n=304)

1. 業種		1. 業種	
	(%)		(%)
水産・農林・鉱業	1.3	電気・ガス・熱供給・水道	1.0
建設・土木	4.6	情報通信・通信サービス	7.6
化学・薬品	5.9	運輸・倉庫	4.3
食品	3.0	不動産	3.3
石油・石炭・ゴム	1.3	商社	6.6
繊維・紙・木材	2.0	卸売り・小売	12.2
鉄・非金属・窯業	5.3	飲食・宿泊	1.6
輸送機器・関連機器	6.6	銀行・保険・証券・信販	2.3
一般機械製造	5.6	放送・新聞・出版・印刷	0.0
電機・精密機械	9.5	その他サービス業	6.6
その他製造業	9.2	その他	0.3

2. 従業員数(連結ベース)	
	(%)
300人未満	21.1
300~500人未満	13.5
500~1,000人未満	15.1
1,000~2,000人未満	14.5
2,000~5,000人未満	15.5
5,000~10,000人未満	6.3
10,000~50,000人未満	12.2
50,000~100,000人未満	1.3
100,000人以上	0.7

3. 海外拠点の有無	
	(%)
ある	65.5
ない	33.9
無回答	0.7

4. 資本金	
	(%)
1億円未満	2.6
1億~5億円未満	12.2
5億~10億円未満	9.2
10億~50億円未満	33.2
50億~100億円未満	14.1
100億~500億円未満	22.0
500億円以上	6.3
無回答	0.3

5. 対海外の売上比率 (2011年度)	
	(%)
0%	30.9
1~9%	13.2
10~19%	7.9
20~29%	3.6
30~39%	5.9
40~49%	4.6
50~59%	4.6
60~69%	2.0
70~79%	1.6
80~89%	2.3
90~99%	1.6
100%	0.0
無回答	21.7
平均	18.5

6. 3年後の対海外の売上比率の目標	
	(%)
0%	24.0
1~9%	6.6
10~19%	7.6
20~29%	4.6
30~39%	3.6
40~49%	1.3
50~59%	4.9
60~69%	1.6
70~79%	2.0
80~89%	3.0
90~99%	0.7
100%	0.0
無回答	40.1
平均	19.5

英語使用部署の有無で「英語を使用する部署・部門がある」「特定部署・部門はないが英語使用はある」と答えた企業に絞って集計した。

【英語使用企業】

(n=228)

1. 業種		1. 業種	
	(%)		(%)
水産・農林・鉱業	1.3	電気・ガス・熱供給・水道	0.9
建設・土木	2.6	情報通信・通信サービス	7.9
化学・薬品	7.9	運輸・倉庫	4.4
食品	2.2	不動産	1.3
石油・石炭・ゴム	1.8	商社	8.3
繊維・紙・木材	1.8	卸売り・小売	6.6
鉄・非金属・窯業	6.1	飲食・宿泊	0.9
輸送機器・関連機器	8.8	銀行・保険・証券・信販	2.2
一般機械製造	7.5	放送・新聞・出版・印刷	0.0
電機・精密機械	11.8	その他サービス業	5.7
その他製造業	10.1	その他	0.0

2. 従業員数(連結ベース)	
	(%)
300人未満	14.9
300~500人未満	13.6
500~1,000人未満	13.2
1,000~2,000人未満	15.8
2,000~5,000人未満	18.9
5,000~10,000人未満	7.5
10,000~50,000人未満	13.6
50,000~100,000人未満	1.8
100,000人以上	0.9

3. 海外拠点の有無	
	(%)
ある	78.9
ない	20.2
無回答	0.9

4. 資本金	
	(%)
1億円未満	2.2
1億~5億円未満	10.1
5億~10億円未満	6.6
10億~50億円未満	30.3
50億~100億円未満	16.7
100億~500億円未満	26.3
500億円以上	7.5
無回答	0.4

5. 対海外の売上比率 (2011年度)	
	(%)
0%	17.1
1~9%	15.8
10~19%	9.6
20~29%	4.8
30~39%	7.9
40~49%	6.1
50~59%	6.1
60~69%	2.6
70~79%	2.2
80~89%	3.1
90~99%	2.2
100%	0.0
無回答	22.4
平均	24.8

6. 3年後の対海外の売上比率の目標	
	(%)
0%	11.4
1~9%	6.1
10~19%	9.2
20~29%	6.1
30~39%	4.8
40~49%	1.8
50~59%	6.6
60~69%	2.2
70~79%	2.6
80~89%	3.9
90~99%	0.9
100%	0.0
無回答	44.3
平均	27.7

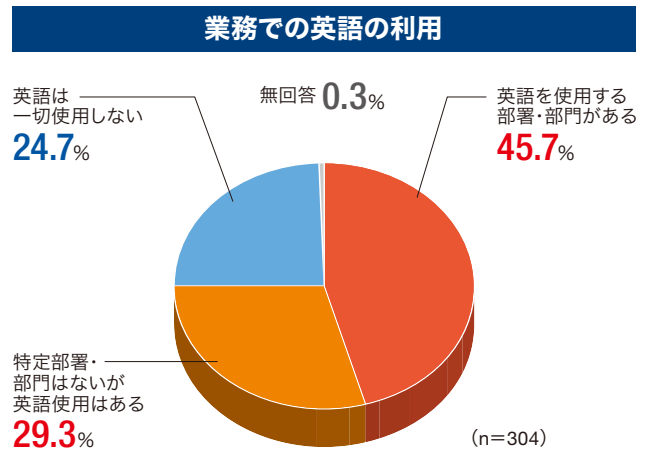
※各平均の値を記載しているため、合計は100%にならない。

■ 1番目に高い ■ 2番目に高い

1. 英語の使用状況

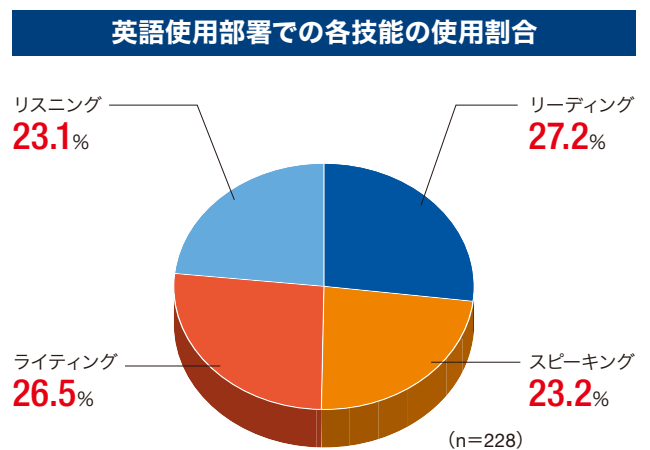
1 75%の企業が英語を使用

企業の75.0%が業務で英語を使用している（「英語を使用する部署・部門がある」「特定部署・部門はないが英語使用はある」の合計）。「英語を使用する部署・部門がある」の割合を、製造業/非製造業別にみると、製造業58.2%に対して非製造業30.9%と、大きな差がみられる。



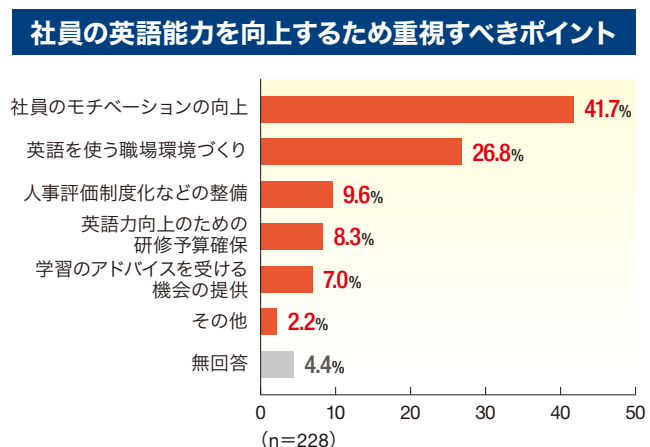
2 英語使用部署では4技能のバランスがとれた英語力が必要に

英語を使用する部署での英語4技能の使用割合は、リーディングが27.2%と他の技能をやや回ったものの、ほぼ均等である。前回調査(2011年)では、「リスニング」21.0%、「リーディング」30.9%、「スピーキング」22.4%、「ライティング」25.6%であり、2年前と比較すると、さらに4技能のバランスがとれた英語力が求められていることがわかる。



3 4割以上の企業が英語能力向上のために「社員のモチベーションの向上」を重視

英語使用企業のうち、社員の英語能力を向上するための課題として、「社員のモチベーションの向上」(41.7%)が最も高く、次いで「英語を使う職場環境づくり」(26.8%)を挙げている。この傾向に、製造業、非製造業による差異はみられない。

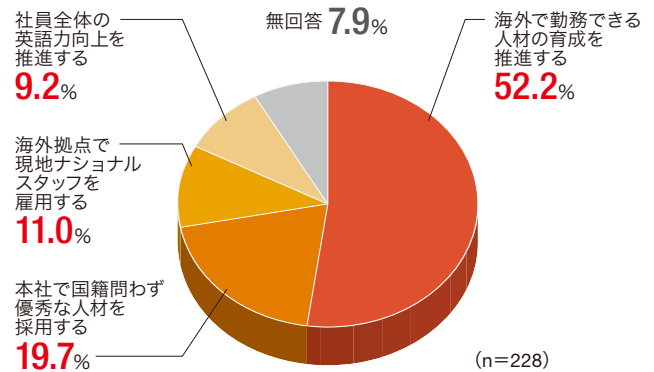


2. グローバル人材育成と求められる英語力

1 5割以上の企業が海外進出する上で最重要視する「海外勤務できる人材育成の推進」

海外進出を成功させるための人材戦略として、企業の52.2%が「海外で勤務できる人材の育成を推進する」を最重要視している。次いで「本社で国籍問わず優秀な人材を採用する」、「海外拠点で現地ナショナルスタッフを雇用する」、「社員全体の英語力向上を推進する」の順である。

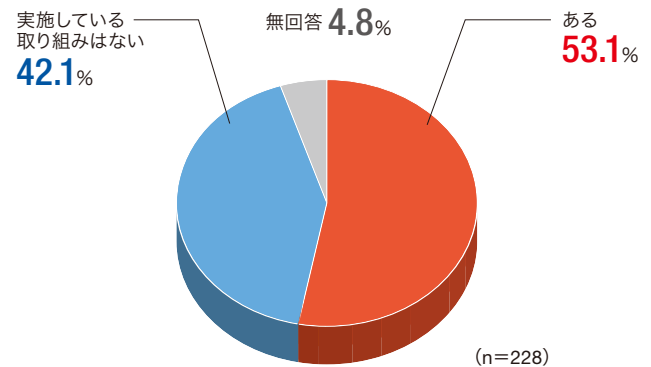
海外マーケットへ進出する上での人材戦略について



2 グローバル人材育成のための取り組みを企業の5割が実施

社員が世界で活躍できるグローバル人材となるために、企業の53.1%が何らかの取り組みを実施している。ただし、製造業/非製造業別にみると、製造業63.1%に対して非製造業36.8%と、大きな差がみられる。

グローバル人材育成のための取り組み

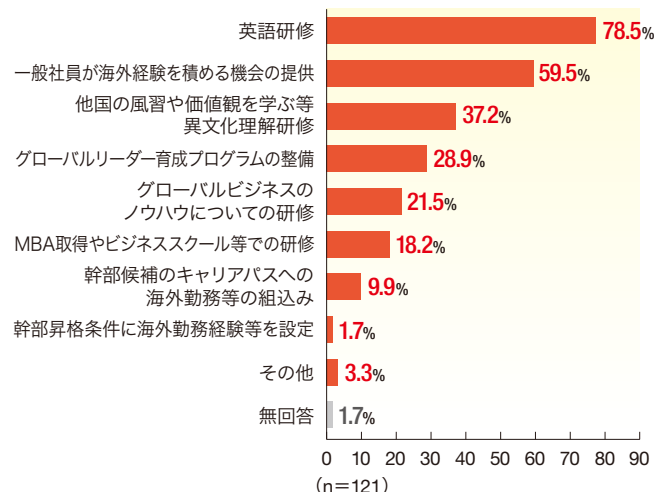


3 グローバル人材育成のための取り組みとして8割の企業が「英語研修」

グローバル人材育成の取り組みとして、企業の78.5%が「英語研修」を挙げており、次いで「一般社員が海外経験を積める機会の提供」(59.5%)となっている。

前回調査(2011年)では、「英語研修」(44.2%)、「一般社員が海外経験を積める機会の提供」(38.8%)であり、2年前と比較すると、グローバル人材育成に向け、さらなる積極的な取り組みを実施していることがうかがえる。

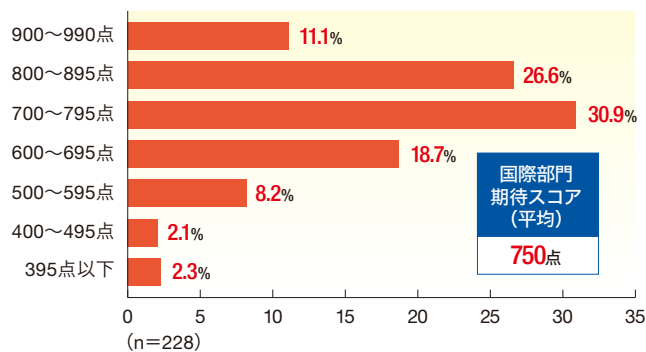
グローバル人材育成のための具体的な取り組み (複数回答)



4 68.6%の企業が国際部門での業務遂行には「700点以上のスコアを期待」

グローバル環境の中でビジネス展開が期待される国際部門では、円滑な業務遂行に必要なTOEICスコアについて、68.6%（「700点～990点」の合計）の企業が700点以上のスコアを期待している。P.10<1>の「全社員期待スコア」と比較すると、右の「国際部門期待スコア」がより高いことがわかる。

グローバル化に伴う業務遂行に必要なTOEICスコア（国際部門）



※各平均の値を記載しているため、合計は100%にならない。

5 28.5%の企業が海外出張者選抜にTOEIC®テストを利用

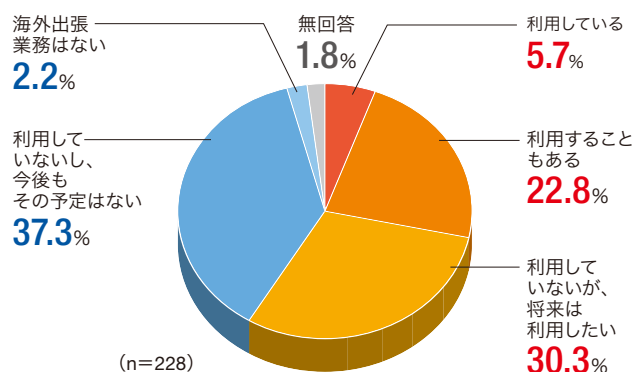
TOEICスコアを海外出張者の選抜に利用している企業は28.5%（「利用している」「利用することもある」の合計）である。具体的に海外出張者に期待する平均スコアは675点で、前回調査（2011年）の平均スコア（615点）より60点高く、企業が海外出張者に対して高い英語力を期待していることが考えられる。

海外出張者期待スコア（平均）※

2011年	2013年
615点	675点

※「利用している」「利用することもある」と回答した企業の期待スコアの平均

TOEICテストを海外出張者選抜に利用するか



※各平均の値を記載しているため、合計は100%にならない。

6 3割の企業が海外赴任者選抜にTOEIC®テストを利用

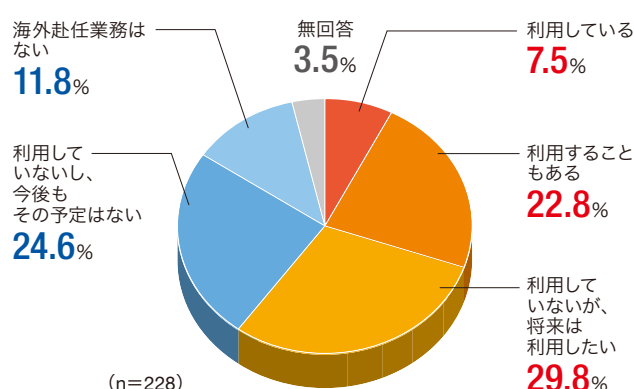
TOEICスコアを海外赴任者の選抜に利用している企業は30.3%（「利用している」「利用することもある」の合計）である。さらに「利用していないが、将来は利用したい」を含めると60.1%となり、多くの企業で英語の必要性がますます高まる将来を見据えて、さらなる英語力の向上を期待していることがうかがえる。

海外赴任者期待スコア（平均）※

2011年	2013年
715点	695点

※「利用している」「利用することもある」と回答した企業の期待スコアの平均

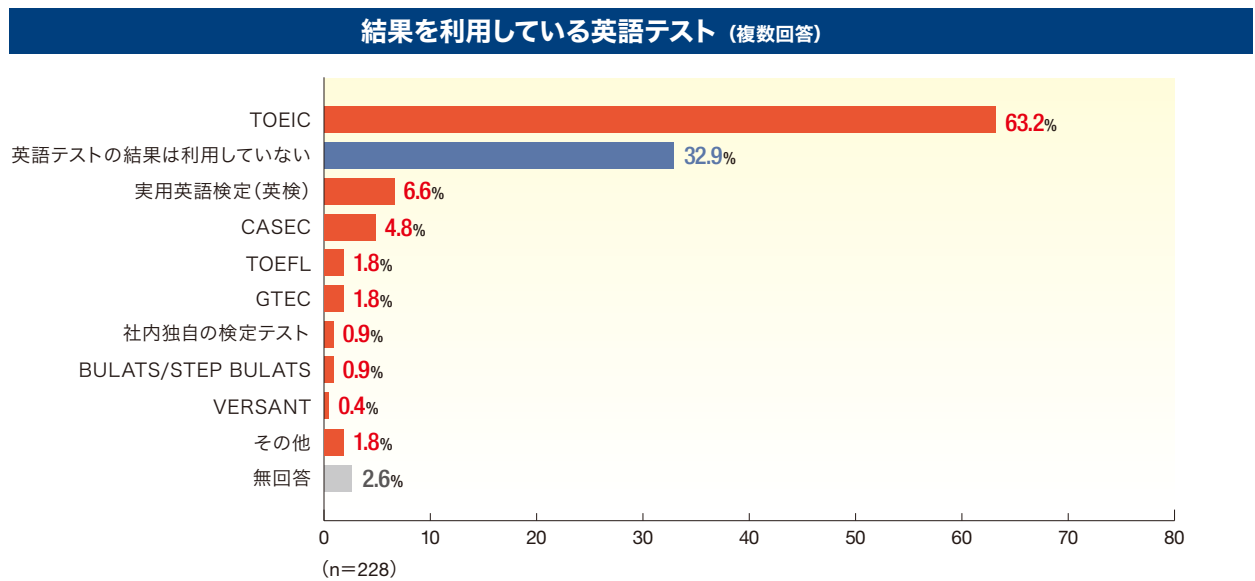
TOEICテストを海外赴任者選抜に利用するか



3. 英語テストの利用

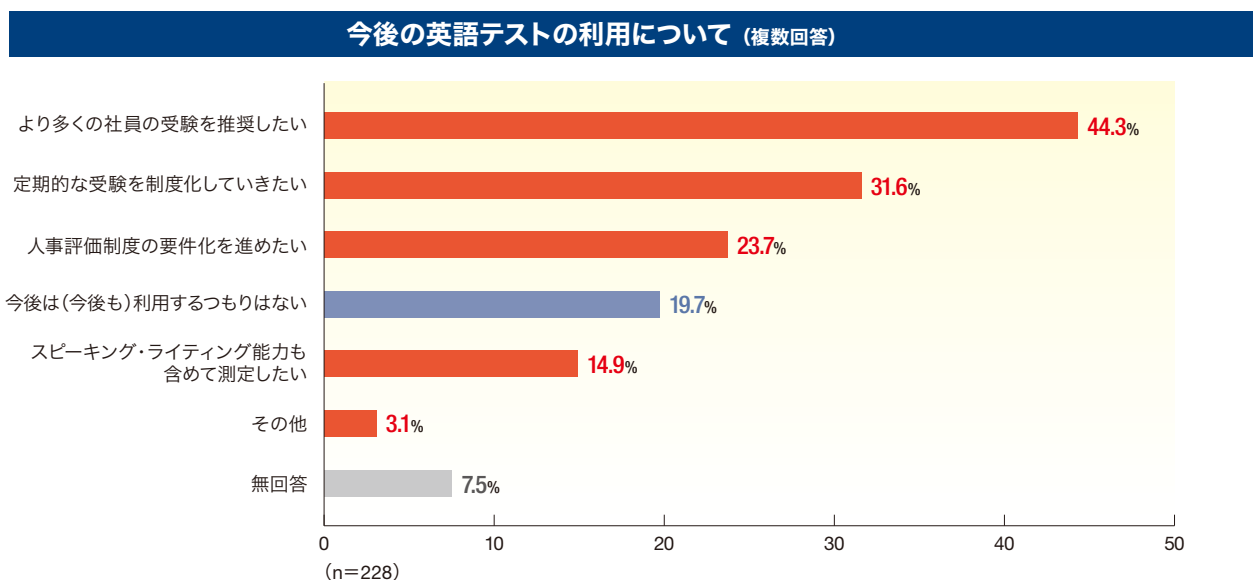
1 6割の企業がTOEIC® テストの結果を利用

企業の63.2%がTOEICテストの結果を利用している。この割合は製造業73.0%に対して非製造業47.1%、従業員数5,000人以上の企業83.3%に対して5,000人未満の企業56.9%と大きな差異がみられる。業種別にみると、「輸送機器・関連機器」(85.0%)、「一般機械製造」(82.4%)、「電機・精密機械」(81.5%)において特にTOEICテスト結果の利用割合が高い。



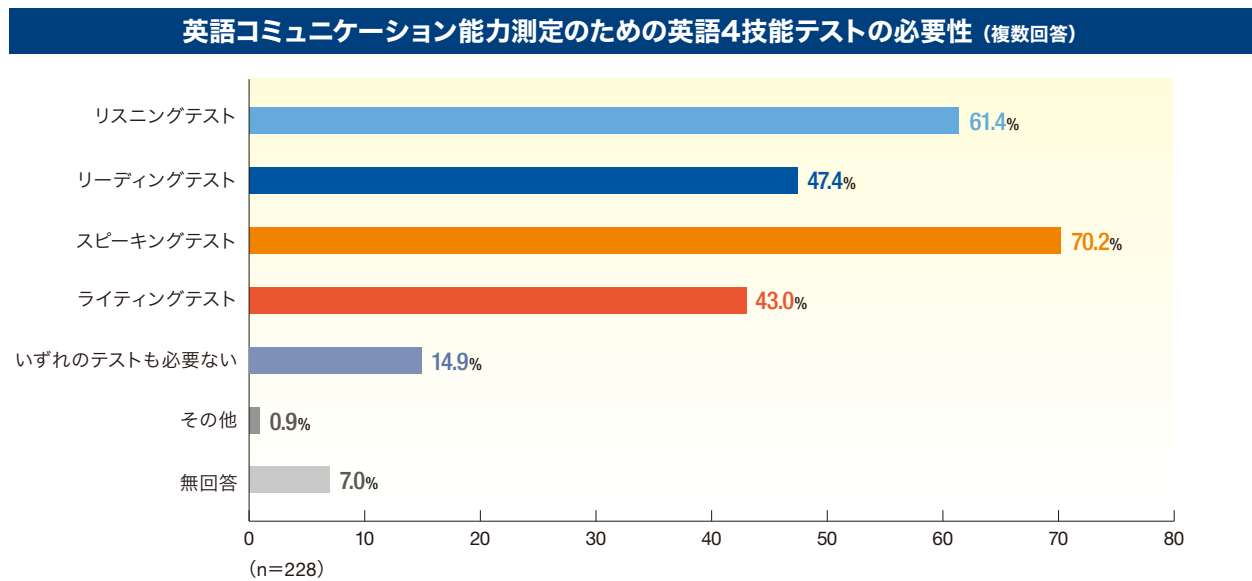
2 より多くの社員に英語テスト受験を推奨

英語テストの今後の利用について、最も多いのは「より多くの社員の受験を推奨したい」の44.3%、次いで「定期的な受験を制度化していきたい」が31.6%と、企業として社員の英語テスト受験を通じた英語力向上に対し、積極的な意向をもつことが推察できる。



3 英語コミュニケーション能力測定の必要性 …7割が「スピーキング」、6割が「リスニング」

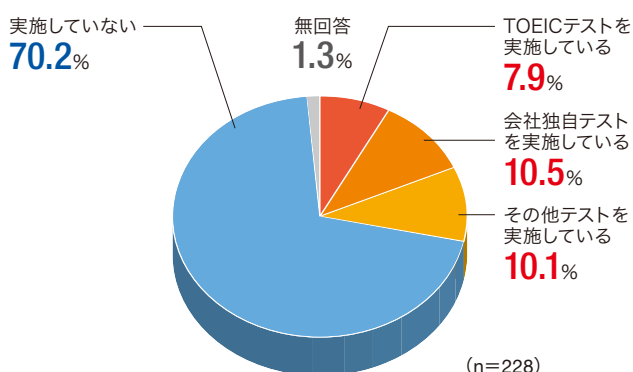
英語コミュニケーション能力測定のための英語4技能テストの必要性について、「スピーキングテスト」(70.2%)、「リスニングテスト」(61.4%)が、他の2技能と比べて割合が高く、特にスピーキング能力測定のニーズが高いことがわかる。



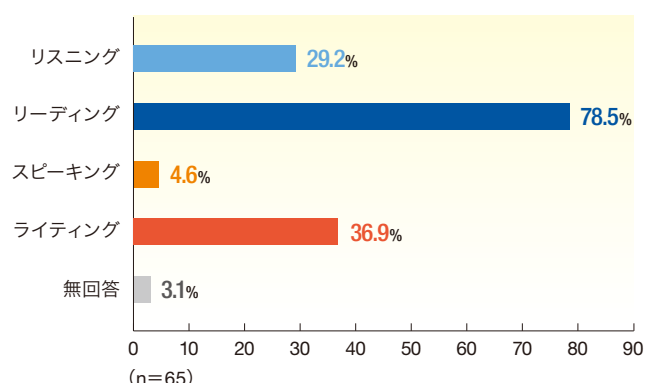
4 28.5%の企業が新入社員の採用試験で英語テストを実施

企業の28.5%が新入社員の採用試験の中で、英語テストを実施している(「TOEICテストを実施している」「会社独自テストを実施している」「その他テストを実施している」の合計)。なお、実施している英語テストを英語4技能別にみると、リーディング78.5%>ライティング36.9%>リスニング29.2%>スピーキング4.6%の順である。ライティングテストを実施している主な業種は、「一般機械製造」4社、「運輸・倉庫」3社である。また、スピーキングテストに関しては、製造業3社のみでいずれも従業員数が1,000人以上~5,000人未満の企業である。

新入社員の採用試験における英語テストの実施



新入社員の採用試験で実施している英語テストの種類 (複数回答)



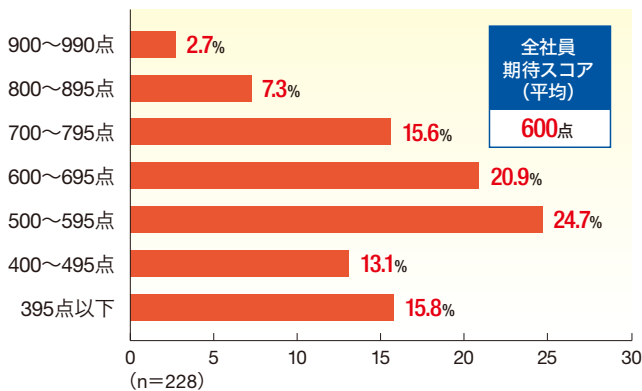
4. 企業で求められるTOEIC®スコア

1 グローバル化に対応するため全社員に求められる期待スコア平均は「600点」

海外での業務遂行に必要な英語コミュニケーション能力として、全社員に求めるTOEICスコアは、「500～595点」(24.7%)、「600～695点」(20.9%)が半数近くを占めている。

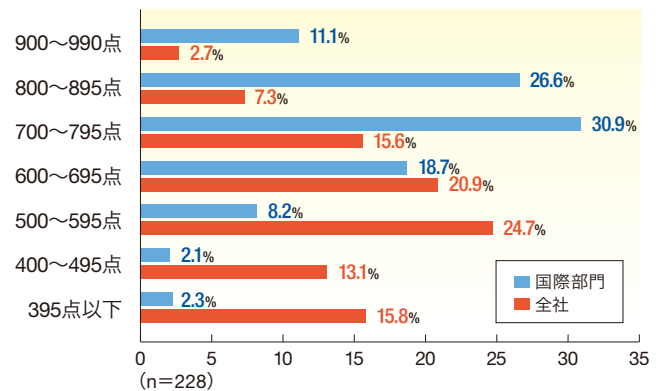
P.7(4)の国際部門と比較すると、期待スコア(平均)に関しては、国際部門の750点に対して全社員は600点と大きな差異がみられるものの、全社員に対し一定の英語力を求めていることがわかる。

グローバル化に伴う業務遂行に必要なTOEICスコア(全社)



※各平均の値を記載しているため、合計は100%にならない。

グローバル化に伴う業務遂行に必要なTOEICスコア(全社、国際部門)



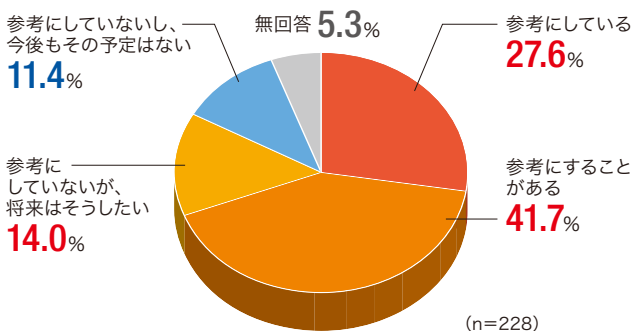
※各平均の値を記載しているため、合計は100%にならない。

2 7割の企業が採用時にTOEIC®スコアを参考に

入社希望者が「資格・特技」として提出したTOEICスコアを69.3%の企業が参考にしている(「参考にしている」「参考にすることがある」の合計)。この割合は、製造業72.3%に対して非製造業64.4%とわずかな差がみられる。新入社員に期待するTOEICスコアは平均565点、中途採用社員では平均710点である。

前回調査(2011年)では、新入社員に期待するTOEICスコアは平均550点、中途採用社員では平均600点であることから、近年企業では中途採用社員に対して、すでに英語力をもつ人材を求めていることがわかる。採用時に参考にするTOEICテストの種類別にみると、「公開テスト・IPテストを問わず、スコアを参考にする」が74.1%と最も高い。

採用時にTOEICスコアを参考にするか



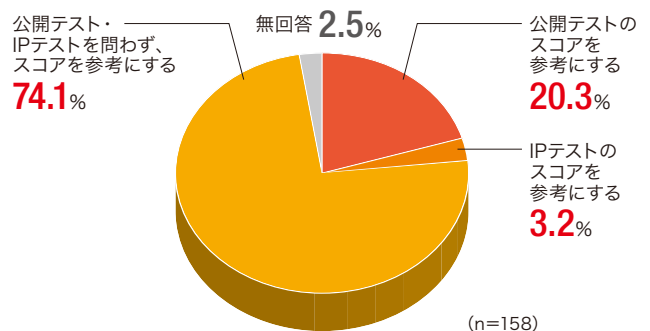
入社時期期待スコア(平均)

	2011年	2013年
新入社員	550点	565点
中途採用社員	600点	710点

採用応募時参考スコア(平均)

625点

採用時に参考にするTOEICテストの種類



※各平均の値を記載しているため、合計は100%にならない。

※IPテスト…団体特別受験制度(IP:Institutional Program)

3 15.8%の企業で異動、昇進・昇格の要件

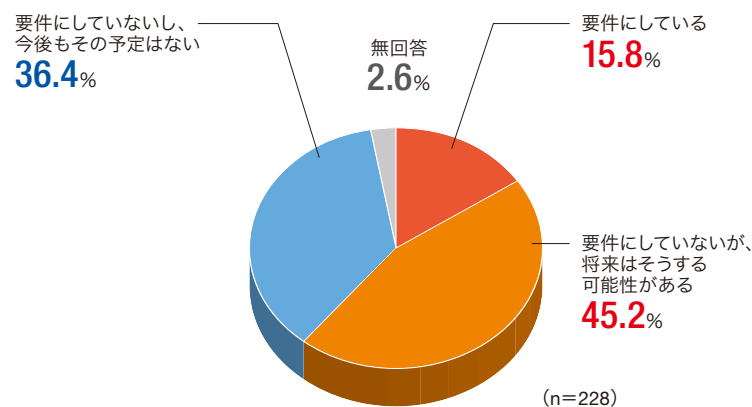
TOEICスコアを異動、昇進・昇格の要件にしている企業は15.8%である。

要件にしている主な業種は、製造業では「電機・精密機械」8社、「輸送機器・関連機器」7社などであり、非製造業に関しては「商社」7社のみであった。

「要件にしていないが、将来はそうする可能性がある」が約半数近くを占めており、将来に向け要件化を視野に入れていることがうかがえる。

また、主任・係長クラスと課長以上の役職の昇進・昇格条件として、前回調査(2011年)と比べ、すべての役職にわたり、要件スコアの上昇がみられる。

TOEICスコアを異動、昇進・昇格の要件にするか



昇進・昇格 要件スコア(平均)		
	2011年	2013年
役員	—	525点
部長	520点	580点
課長	525点	550点
係長	530点	545点
主任	470点	520点

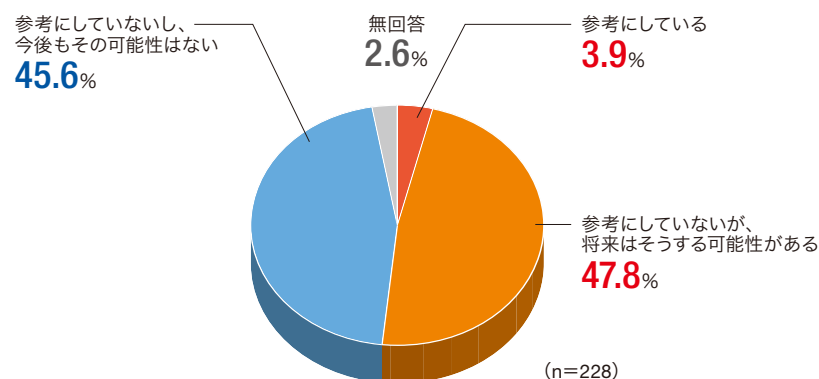
※「要件にしている」と回答した企業の平均

4 昇進・昇格時に求められるスピーキング・ライティング能力

51.7%の企業がTOEICスコア以外にスピーキング・ライティング能力を昇進・昇格の参考に使っている、または将来そうしたいと考えている(「参考に使っている」「参考に使っていないが、将来はそうする可能性がある」の合計)。

「英語コミュニケーション能力測定のための英語4技能テストの必要性」(P.9<3>)の中でも、「スピーキングテスト」が最も高いことから、今後、企業ではスピーキング能力測定の必要性がますます高まるものと推察できる。

TOEICスコア以外にスピーキング・ライティング能力を昇進・昇格の参考にするか



※各平均の値を記載しているため、合計は100%にならない。

TOEIC® テストとTOEIC® スピーキングテスト/ライティングテスト 期待/平均スコアとスコア比較表

〈1〉TOEIC®テスト(リスニング・リーディング)では、「Proficiency Scale(TOEICスコアとコミュニケーション能力レベルとの相関表)」、今回の「上場企業における英語活用実態調査」から得られた企業が期待するスコア、ならびに2012年度団体特別受験制度(Institutional Program、以下IPテスト)受験者の平均スコアをまとめています。

〈2〉TOEIC®スピーキングテスト、〈3〉TOEIC®ライティングテストでは、2011年調査から得られた企業が期待するスコア、ならびに2012年度IPテスト受験者の平均スコアをまとめています。

〈1〉 TOEIC® テスト (リスニング・リーディング)

Proficiency Scale *1			企業が期待するTOEICスコア *2			採用応募時に参考にするスコア	昇進・昇格時の要件スコア(役職別)	英語使用部署で必要なスコア(役職別)
TOEICスコア	レベル	評価(ガイドライン)	部門別	海外赴任・出張	入社時			
990	A	Non-Native として十分なコミュニケーションができる。 自己の経験の範囲内では、専門外の分野の話題に対しても十分な理解とふさわしい表現ができる。Native Speakerの域には一步隔たりがあるとはいえ、語彙・文法・構文のいずれをも正確に把握し、流暢に駆使する力を持っている。						
950								
900								
860	B	どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えている。 通常会話は完全に理解でき、応答もはやい。話題が特定分野にわたっても、対応できる力を持っている。業務上も大きな支障はない。正確さと流暢さに個人差があり、文法・構文上の誤りが見受けられる場合もあるが、意思疎通を妨げるほどではない。	国際部門	海外赴任	中途採用社員			
850			営業部門	海外出張				
800			技術部門					
750	C	日常生活のニーズを充足し、限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができる。 通常会話であれば、要点を理解し、応答にも支障はない。複雑な場面における的確な対応や意思疎通になると、巧拙の差がみられる。基本的な文法・構文は身につけており、表現力の不足はあっても、ともかく自己の意思を伝える語彙を備えている。	660	605	610			
700			750	695	710			
650			650	675	670	625点		
600	D	通常会話で最低限のコミュニケーションができる。 ゆっくり話してもらうか、繰り返しや言い換えをしてもらえば、簡単な会話は理解できる。身近な話題であれば応答も可能である。語彙・文法・構文ともに不十分なところは多いが、相手かNon-Native に特別な配慮をしてくれる場合には、意思疎通をはかることができる。	535	570	565			
550			620	675				
500			520	675	565			
470	E	コミュニケーションができるまでに至っていない。 単純な会話をゆっくり話してもらっても、部分的にしか理解できない。断片的に単語を並べる程度で、実質的な意思疎通の役に立たない。			465			
450								
400								
350								
220								
10								

*1 TOEICスコアとコミュニケーション能力レベルとの相関表。詳しくは<http://www.toeic.or.jp/toeic/pdf/data/proficiency.pdf>をご覧ください。
 *2 中心値を期待スコアの平均値とし、「プラス・マイナス1」標準偏差に相当するゾーンを「期待値の幅」と仮定。
 *3 2012年度団体特別受験制度(IP:Institutional Program)受験者データ。

また、この表は『TOEICテストとTOEICスピーキングテスト/ライティングテストのスコア比較表』を図式化しており、TOEICテストのスコアからTOEICスピーキングテスト/ライティングテスト(以下TOEIC SWテスト)の各スコアを予測する目安としてもお使いいただけます。例えば、「TOEICテストで550点を取得した方の場合、TOEICスピーキングテスト予測スコアは110点程度、TOEICライティングテスト予測スコアは110点程度である」とみることができます。なお、TOEICテストとTOEIC SWテストの相関表ではないため、TOEIC SWスコアからTOEICスコアを予測することはできませんのでご注意ください。

詳しくは『TOEICテストとTOEICスピーキングテスト/ライティングテストのスコア比較表』をご覧ください。

http://www.toEIC.or.jp/sw/pdf/score_comparison_list.pdf

平均スコア				TOEIC スコア	<2> TOEIC [®] スピーキングテスト				<3> TOEIC [®] ライティングテスト			
部門別 *3	役職別 *3	学生・新入社員 *3	海外 *4		スピーキング スコア	レベル	企業が *5 期待する スコア	平均 *3 スコア	ライティング スコア	レベル	企業が *5 期待する スコア	平均 *3 スコア
				990	200	8			200	9		
				950	190	8			190	8		
				900	180		海外部門・ 海外赴任 170点		180		海外部門・ 海外赴任 180点	
				850	170	7			170	海外 赴任 レベル		
				800	160		海外 赴任 レベル		160			
				750	150	6			150	7		
				700	140				140		海外 出張 レベル	
				650	130	海外 出張 レベル			130			海外部門 141.8点
				600	120			新入社員 128.0点 海外部門 126.8点	120		営業部門 134.7点	
				550	110	5			110	6		技術部門 131.5点 新入社員 128.4点
				500	100		営業部門 119.4点	技術部門 107.4点	100			
				450	90	4			90	5		営業部門・ 技術部門 100点
				400	80		新入社員 90点	大学 99.6点	80			
				350	70	3			70	4		新入社員 80点
				300	60				60			
				250	50	2			50	3		
				200	40				40			
				150	30	1			30	2		
				100	20				20			
				100	10	1			10	1		
				10	0				0			

*4 出典: ETS「Learn about TOEIC test takers worldwide 2010」。

*5 出典: 「上場企業における英語活用実態調査 2011年」。

TOEIC®スピーキングテスト Proficiency Level Descriptors (能力レベル別評価)

スピーキングスコア	レベル	ディスクリプター	スピーキング能力のレベル
200	8	<p>一般的な職場にふさわしい継続的な会話ができる。基本的な文法も複雑な文法もうまく使いこなし、正確で的確な語彙・語句を使用している。</p> <p>【応答】 質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。</p> <p>【意見を述べる・複雑な要求に応える】 非常に分かりやすい。</p> <p>【発音・イントネーション・アクセント】 音読・自ら考えて話すときを問わず、常にとても分かりやすい。</p>	業務上のコミュニケーションレベル 【海外赴任】レベル
190			
180	7	<p>一般的な職場にふさわしい継続的な会話ができる。</p> <p>【応答】 質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。</p> <p>長い応答では、以下の弱点が現れることがあるが、意思の伝達を妨げるものではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発音、イントネーションにわずかだが問題があり、話すとき、躊躇することがある 複雑な文法構造を使うときにいくつか誤りがみられることがある 不正確な語彙・語句の使用がいくつかみられることがある <p>【意見を述べる・複雑な要求に応える】 的確に意見を述べたり、複雑な要求に応えることができる。</p> <p>【発音・イントネーション・アクセント】 音読はとても分かりやすい。</p>	業務上のコミュニケーションレベル 【海外出張】レベル
170			
160			
150	6	<p>質問への回答・基本的な情報提供に加え、意見を述べ複雑な要求に応えることも概ねできる。</p> <p>【応答】 ほとんどの場合、質問に回答し、基本的な情報を提供することができるが、理解されにくいことがある。</p> <p>【意見を述べる・複雑な要求に応える】 適切に応えることができるが、時々意見の根拠や説明が聞き手にとって不明瞭なことがある。これには、以下の理由が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発音がはっきりしない、またはイントネーションやアクセントが不適切である 文法に誤りがある 使用できる語彙・語句の範囲が限られている <p>【発音・イントネーション・アクセント】 音読は分かりやすい。</p>	業務上のコミュニケーションレベル (限定された範囲) 【海外出張】レベル
140			
130			
120	5	<p>質問への回答・基本的な情報提供は概ねできる。意見を述べ複雑な要求に応えることはある程度できる。</p> <p>【応答】 ほとんどの場合、質問に回答し、基本的な情報を提供することができるが、理解されにくいことがある。</p> <p>【意見を述べる・複雑な要求に応える】 ある程度、意見を述べたり複雑な要求に応えることができるが、以下のような問題がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉が不正確、あいまい、または同じ言葉を繰り返し述べている 聞き手の立場や状況をほとんど、またはまったく意識していない 間が長く、躊躇することが多い 考えや、考えを関連づける際の表現が限られている 使用できる語彙・語句の範囲が限られている <p>【発音・イントネーション・アクセント】 音読は概ねわかりやすいが、自らが考えて話をするときには、時々誤りがある。</p>	日常のコミュニケーションレベル
110			
100	4	<p>質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応える能力が限られている。</p> <p>【応答】 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。</p> <p>【意見を述べる・複雑な要求に応える】 意見を述べたり複雑な要求に応えようとするが、うまくいかない。単文、または文の一部分のみで応答することがある。また、以下のような問題がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 回答が非常に短い、または長くても理解されにくい 聞き手の立場や状況をほとんど、またはまったく意識していない 発音・イントネーション・アクセントに常に問題がある 間が長く、躊躇することが多い 語彙・語句が非常に限られている <p>【発音・イントネーション・アクセント】 音読は分かりやすい場合もあるが、分かりにくい場合もある。自らが考えて話をするときは問題が多い。</p>	日常のコミュニケーションレベル (限定された範囲)
90			
80			
70	3	<p>質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応える能力がかなり限られている。語彙・語句または文法が不十分なため、単純な描写をすることができない。</p> <p>【応答】 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。</p> <p>【意見を述べる・複雑な要求に応える】 困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。</p> <p>【発音・イントネーション・アクセント】 音読であっても理解されにくいことがある。</p>	日常のコミュニケーションレベル (限定された範囲)
60			
50	2	<p>質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。</p> <p>【応答】 生活や職業上の決まりきったやりとりにおいて、質問に回答したり、基本的な情報の提供を試みても理解されにくい。</p> <p>【意見を述べる・複雑な要求に応える】 意見や、意見の裏付けを述べたり、複雑な要求に応えることはできない。または、回答が質問の趣旨に合わない。</p> <p>【発音・イントネーション・アクセント】 音読であっても理解されにくいことがある。</p>	コミュニケーションができるレベルに至っていない
40			
30	1	TOEICスピーキングテストの設問の多くに回答しておらず、テストのディレクションや設問の内容理解に必要な英語のリスニング・リーディング力の向上が必要である。	
20			
10			
0			

P14・15に記載の Proficiency Level Descriptorsは、TOEICスピーキングテスト/ライティングテストを開発・制作した米国の非営利テスト開発機関 ETS (Educational Testing Service) が作成した資料をもとに、(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会がまとめたものです。各自の TOEICスピーキング/ライティングスコアが「どの程度の Proficiencyか」の目安としてご参照ください。ただし、この Proficiency Level Descriptorsは本来、それぞれの状況や、各自の置かれたコミュニケーションの環境を考慮して解釈されるべき性格のもので、すなわち、実際の Score Interpretation (スコアの解釈) は、現実英語力を求められる個人や企業・団体・学校によって規定されることとなります。

TOEIC® ライティングテスト Proficiency Level Descriptors (能力レベル別評価)

ライティング スコア	レベル	ディスクリプター	ライティング能力の レベル
200	9	<p>単純な情報を提供することも意見を述べることも的確にできる。さまざまな構文や適切な語彙・語句を使い、自然な英語を書くことができ、文法も正確である。</p> <p>【単純な情報提供・質問・指示または依頼】 明確で一貫性のある、効果的な文章を書くことができる。単純な情報を的確に伝達することができる。</p> <p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることができ、その際の文章はよくまとまり、十分に展開されている。</p>	<p>業務上の コミュニケーション レベル</p>
190	8	<p>単純な情報を提供することは的確にできる。意見を述べることも概ねできる。</p> <p>【単純な情報提供・質問・指示または依頼】 明確で一貫性のある、効果的な文章を書くことができる。単純な情報を的確に伝達することができる。</p> <p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることができ、その際の文章は、さまざまな構文や適切な語彙・語句が使用され、概ねよくまとまった良い文章である。ただし、以下の弱点の1つがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時折、同じ考えを必要以上に繰り返す、または述べている項目同士の関連が不明確 文法上の小さな誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	<p>【海外赴任】 レベル</p>
180		<p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることができ、その際の文章は、さまざまな構文や適切な語彙・語句が使用され、概ねよくまとまった良い文章である。ただし、以下の弱点の1つがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時折、同じ考えを必要以上に繰り返す、または述べている項目同士の関連が不明確 文法上の小さな誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	
170		<p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることができ、その際の文章は、さまざまな構文や適切な語彙・語句が使用され、概ねよくまとまった良い文章である。ただし、以下の弱点の1つがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時折、同じ考えを必要以上に繰り返す、または述べている項目同士の関連が不明確 文法上の小さな誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	
160	7	<p>単純な情報を提供することは的確にできる。意見を述べることは部分的にできる。</p> <p>【単純な情報提供・質問・指示または依頼】 明確で一貫性のある、効果的な文章を書くことができる。</p> <p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることが部分的にできる。意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができるが、以下の弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 論旨に対する具体的な裏付けや展開が不十分 論旨同士の関連が不明確 文法的な誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	<p>業務上の コミュニケーション レベル (限定された範囲)</p> <p>【海外出張】 レベル</p>
150		<p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることが部分的にできる。意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができるが、以下の弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 論旨に対する具体的な裏付けや展開が不十分 論旨同士の関連が不明確 文法的な誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	
140		<p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることが部分的にできる。意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができるが、以下の弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 論旨に対する具体的な裏付けや展開が不十分 論旨同士の関連が不明確 文法的な誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	
130	6	<p>単純な情報を提供することも意見を述べることも部分的にできる。</p> <p>【単純な情報提供・質問・指示または依頼】 重要な情報を書き忘れたり、分かりにくい場合がある。単純な情報の提供については部分的にできる。</p> <p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることが部分的にできる。意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができるが、以下の弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 論旨に対する具体的な裏付けや展開が不十分 論旨同士の関連が不明確 文法的な誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	<p>日常の コミュニケーション レベル</p>
120		<p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることが部分的にできる。意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができるが、以下の弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 論旨に対する具体的な裏付けや展開が不十分 論旨同士の関連が不明確 文法的な誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	
110		<p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることが部分的にできる。意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができるが、以下の弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 論旨に対する具体的な裏付けや展開が不十分 論旨同士の関連が不明確 文法的な誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	
100	5	<p>単純な情報を提供することは部分的にできるが、意見を述べる能力は限られている。</p> <p>【単純な情報提供・質問・指示または依頼】 重要な情報を書き忘れたり、分かりにくい場合がある。少なくとも部分的には、単純な情報の提供ができる。</p> <p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることは、ほとんどできない。コミュニケーションの障害となる以下のような重大な弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見を裏付ける例・説明・詳細が不十分、または不適切 考えを述べる構成が適切でない、または考え同士の関連が不十分 考えが十分に展開されていない 重大な文法的誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	<p>日常の コミュニケーション レベル (限定された範囲)</p>
90		<p>【意見の記述】 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることは、ほとんどできない。コミュニケーションの障害となる以下のような重大な弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見を裏付ける例・説明・詳細が不十分、または不適切 考えを述べる構成が適切でない、または考え同士の関連が不十分 考えが十分に展開されていない 重大な文法的誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	
80	4	<p>単純な情報を提供する・意見を述べる能力は発展段階にあり、コミュニケーションがとれることは限られている。文法的に正確な文章を作成する能力がある程度あるものの、常に作成することはできない。</p> <p>【単純な情報提供・質問・指示または依頼】 以下の理由で課題を完全に達成することができない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報が欠けている 文章と文章のつながりが欠けている、またはあいまい 文法的誤りが多い、または語彙・語句の選択が不正確 <p>【意見の記述】 コミュニケーションの障害となる以下のような重大な弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見を裏付ける例・説明・詳細が不十分、または不適切 考えを述べる構成が適切でない、または考え同士の関連が不十分 考えが十分に展開されていない 重大な文法的誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	<p>日常の コミュニケーション レベル (限定された範囲)</p>
70		<p>【意見の記述】 コミュニケーションの障害となる以下のような重大な弱点がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見を裏付ける例・説明・詳細が不十分、または不適切 考えを述べる構成が適切でない、または考え同士の関連が不十分 考えが十分に展開されていない 重大な文法的誤り、または不正確な語彙・語句の選択 	
60	3	<p>単純な情報を提供する・意見を述べる能力が限られている。文法的に正確な文章を作成する能力がある程度あるものの、常に作成することはできない。</p> <p>【単純な情報提供・質問・指示または依頼】 以下の弱点が1つまたは複数みられ、課題を完全に達成することができない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報が欠けている 文章と文章のつながりが欠けている、またはあいまい 文法的誤りが多い、または語彙・語句の選択が不正確 <p>【意見の記述】 以下の重大な欠陥が1つまたは複数みられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無秩序な構成と不十分な展開 詳細情報の欠落、または関連の欠如 文法的誤りの頻発、または不正確な語彙・語句の選択 	<p>日常の コミュニケーション レベル (限定された範囲)</p>
50		<p>【意見の記述】 以下の重大な欠陥が1つまたは複数みられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無秩序な構成と不十分な展開 詳細情報の欠落、または関連の欠如 文法的誤りの頻発、または不正確な語彙・語句の選択 	
40	2	<p>単純な情報を提供する・意見を述べる能力がかなり限られている。文法的に正確な文章を作成することができない。</p> <p>【単純な情報提供・質問・指示または依頼】 単純な情報を提供することができない。このレベルに特有の弱点には、以下が含まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要な情報がまったく含まれていない 記述された事柄同士につながりがなく、またはあいまい 文法的誤りが頻発する、または語彙・語句の選択が不正確 <p>【意見の記述】 以下の重大な欠陥が1つまたは複数みられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無秩序な構成と不十分な展開 詳細情報の欠落、または関連の欠如 文法的誤りの頻発、または不正確な語彙・語句の選択 	<p>コミュニケーション ができるレベルに 至っていない</p>
30	1	<p>TOEICライティングテストの設問の多くに回答しておらず、テストのディレクションや設問の内容理解に必要な英語のリーディング能力の向上が必要である。</p>	
20			
10			
0			



一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

TOEIC® 公式サイト <http://www.toEIC.or.jp>

検索 

【東京】

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2
山王グランドビル
TEL. 03-5521-5901 FAX. 03-5521-5915

【名古屋】

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-4-3
錦パークビル
TEL. 052-220-0282 FAX. 052-220-0284

【大阪】

〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町3-6-1
御堂筋エスジービル
TEL. 06-6258-0222 FAX. 06-6258-0226

本資料の無断転載・複製を禁ず(2013/6)

ETS, the ETS logo, PROPELL, TOEIC, TOEIC Bridge, TOEIC BRIDGE are registered trademarks of Educational Testing Service in the United States, Japan and other countries and used under license.